

# 花とみどりと笑顔

平成27年10月 1日  
上田市立北小学校  
学校だより NO8

## 運動会

### 「さいごまで 楽しく 仲間信じて 全力投球！」

テーマは、毎年、各クラス「テーマにどんな言葉を入れたいか」を考え、児童会役員がそれを集約して、一つの文にまとめるという流れで決めています。

例年、「さいごまで」「信じて」という言葉は受け継がれています。

2学期始業式、校長は、児童に向かい、「皆さん、一人一人の心の中には素晴らしい『種』がある。2学期の様々な学習、行事を一生懸命やることで、それを育て、大きな花が咲くようにしてほしい」という話をしました。

運動会は2学期最大の行事といっても過言ではありません。一生の思い出になるようなものにしてほしいと願っています。我々職員は、そういった願いを共有しつつ、更に「一人一人の心の種を育てる」ためにはどうしたらいいのか、ということについて話し合ってきました。そして、「見栄えや結果ではなく、過程を大事にしよう」「一人一人の思いや、育ちの姿を大事にしていこう」と共通理解をし、指導にあたってきました。是非、そんな願いをご理解いただき、一緒に子どもたち一人一人の取り組みを見守っていただければと思います。

「一人一人の心の種を育てることのできる素晴らしい運動会」「一人一人が力を出し切ることができる運動会」を保護者の皆さんと創造したいと思います。

#### そのための、保護者の皆さんへのお願い

- 上田緑ヶ丘ショッピングセンター（ケーヨーデーツー、原信、花岡、コメダ珈琲）への駐車はしない。

ショッピングセンターの方から、

「開催当日に当駐車場に駐車され運動会に行かれる方が非常に多く困っております。（昨年は当方にお買い物にきたお客様から苦情が寄せられました）つきましては、関係の方にはくれぐれも周知徹底いただけますよう、お願い申し上げます。」

といったお手紙をいただきました。昨年度は、その件で、運動会の最中に放送を入れざるを得なかったとのこと。子どもたちのがんばりに水を差すようなことにもなりかねません。くれぐれもルールを守っていただき、お願いします。遠くからいらっしゃるおじいさんおばあさん、ご親戚の方等にもお知らせ下さい。子どもたちが本気で取り組む運動会を支えていただければと思います。

- 運動会終了後、児童・職員と共に、片付けのお手伝いをお願いします。
  - ・校庭トラックのひも外し：押さえている釘を抜き、コースごとひもを巻き取る
  - ・長机の運び込み：校庭に出されている砂ぼこり等をふき取り、校舎内に運び込みます。
  - ・テント片付け：テントを分解し、「三中倉庫」等へ片付けます。
- 以下のマナーについてもご確認ください。
  - ・ごみやたばこの吸い殻などはお持ち帰りください。
  - ・道路への駐車はしないでください。
  - ・飲酒しながらの応援はしないでください。
- トイレの使用についてご確認ください。
  - ・休憩時の「1階トイレ、外トイレ」使用は児童を優先していただき、保護者の方は「2階トイレ」をご使用ください。

以下、運動会で、どんな「心の種」どのように育てようとしているのか、初めての運動会を迎える1年生、最後の運動会となる6年生の様子を紹介します。

1年生では玉入れの前に、ポケモンのエンディングで流れる『ガオガオ・オールスター』という曲を踊ることになっています。練習のときには、楽しくてついはいしゃいでしまう子ども達の姿が多く見られました。そこで体育の時間、普段教室で取り組んでいる学習の基本「話す人は一人です」「話す人のほうを向いて聞きます」が、みんなが願う「たのしく元気な運動会」「力を合わせる運動会」にも大切なことだと確認しあいました。練習を重ねるごとに、お話の聞き方や競技のルールを守り、力いっぱい取り組めるようになってきたと感じます。

(1学年通信 「すこやか」 No.37より)

いよいよ小学校最後の運動会が始まります。今年は応援団長、大玉送りの代表、運動会の係会の代表など最上級生として大きく運動会に関わり、一つ一つに責任をもち行動してきました。

組体操は、昨年度とは違い、難易度の高い技にも挑んできました。練習で難易度の高い技が初めて成功したときに、「一緒に組んだ仲間と目を合わせて、思わず笑ってしまった。」「ものすごくうれしさがこみ上げてきた。」と、友と一緒に作る技に大きな喜びと達成感を感じる姿がありました。

つらい練習や大変な準備がたくさんありました。それでも「やりたくない」という声は一つもありませんでした。最後の運動会に対する88人の思いが絡み合い、強い意志でこれまで一緒に過ごしてきた仲間と心を合わせて取り組む最後の運動会。最高の喜びを共に感じましょう。

(6学年通信 「進め☆6年」 No.22より)

## アサギマダラが舞う北小の中庭 運動会の際にお立ち寄りください

北小の中庭に「フジバカマ」という植物を植えてあります。これは一昨年、ゆうすげの里からいただいた苗を、花づくり委員会の皆さんが植えてくれたものです。そこへ、その蜜を求めに「アサギマダラ」という華麗な蝶がやってきます。



「アサギマダラは、はねの黒い縞模様と半透明水色の斑点が美しい大型のチョウで、オスははねを閉じたとき、尾に当たる部分が濃い褐色をしています。細かく羽ばたかずふわふわと飛ぶので、とても優雅な感じがします。また、このチョウは長距離を移動することでも知られています。ツバメやカッコウなどの夏鳥が秋になると南の国に旅立つように、アサギマダラも秋になると多くの個体が日本本土から南西諸島、台湾へ渡るようです。はねの半透明な部分にマジックで捕獲場所、年月日、連絡先をかくて、どのくらいの

距離をどれくらいの時間をかけて移動しているのか調べた調査では、直線距離で1500km以上移動したものや1日に200km以上の速さで移動したチョウもいるそうです。」

(北小「りかだより」9月28日号)

天気がよかったシルバーウィーク中は20頭以上のアサギマダラが舞っている姿が見られました。そろそろアサギマダラも旅立ちの時を迎えているようで、徐々に数は減っているようです。運が良ければ運動会の時に見られるかもしれません。中庭にも立ち寄ってみて下さい。(中庭、東渡り廊下よりです)

＜文責 教頭 甘利 尚之＞

